日本プロレタリア音楽（家）同盟資料 第一集（プロレタリア文化運動資料刊行会　1965 年 3 月）
B4 版（355mm×249mm）クリーム上質紙　片面印刷　（未製本）
＊資料集の刊行「日」の記載なし。
＊各資料の名称（ファイル名）は、おおむね「資料一覧表」に従った。そのため、資料原本に記載のタイトル（題号）等と完全に一致しない場合がある。

PDF ファイル一覧

★A「凡例」「資料一覧表」　2 枚
1『P.M ニュース』No.3（1930 年 7 月 12 日）　2 枚
2『P.M ニュース』No.4（1930 年 9 月 21 日）　2 枚
3『P.M ニュース』No.6（1930 年 11 月 19 日）　1 枚
4『P.M ニュース』No.7（1930 年 12 月 31 日）　2 枚
5『P.M ニュース』No.8（1931 年 1 月 25 日）　3 枚
6『P.M ニュース』No.9（1931 年 3 月 1 日）　2 枚
7『P.M ニュース』号外（1931 年 3 月 24 日）　1 枚
8『P.M ニュース』No.10（1931 年 4 月 18 日）　3 枚
9『P.M ニュース』No.12（1931 年 7 月 9 日）　2 枚
10『P.M ニュース』No.12（1931 年 8 月 26 日）　3 枚
11『P.M ニュース』No.13（1931 年 9 月 5 日）　2 枚
12『P.M ニュース』No.14（1931 年 11 月 18 日）　3 枚
13『P.M ニュース』No.17（1932 年 5 月 9 日）　3 枚
14『P.M 教育部ニュース』No.2（1932 年 5 月 8 日）　1 枚
15『P.M 特別ニュース』（1932 年 5 月 22 日）　1 枚
16『P.M ニュース』No.18（1932 年 6 月 17 日）　4 枚
17『P.M 教育部ニュース』No.4（1932 年 7 月 6 日）　1 枚
18『P.M ニュース』第一号（1932 年 8 月 14 日）　8 枚
19『P.M ニュース』No.2（1932 年 10 月 29 日）　3 枚
20『P.M ニュース』No.3（1933 年 1 月 5 日）　2 枚
21『P.M ニュース』No.4（1933 年 3 月 7 日）　2 枚
22『P.M ニュース』No.5（1933 年 4 月 3 日）　2 枚
23『同盟費滞納者氏名及び滞納金額』（1933 年 4 月 24 日）　1 枚
24『P.M ニュース』号外（1933 年 4 月 26 日）　2 枚
25『P.M ニュース』No.6（1933 年 5 月 24 日）　2 枚
26『P.M ニュース』No.7（1933 年 7 月 14 日）　1 枚
27『P.M ニュース』No.8（1933 年 9 月 11 日）　2 枚
28『P.M 第一回大会報告議事草案』（1931 年 7 月 23 日）　15 枚
29『東京支部総会への報告書』（1933 年 9 月 4 日）　15 枚
30『プロレタリア歌曲集 第一輯 インタナショナル』（1932 年 12 月 15 日）　8 枚
31『プロレタリア歌曲集 三月 発刊に際して』（1933 年 3 月 20 日）　2 枚
32『プロレタリア歌曲集 三月 同志小林多喜二追悼記念出版』（1933 年 3 月 25 日）　6 枚
33『前哨の歌 第 3 輯 メーデー準備特輯』（1933 年 4 月 28 日）　4 枚

34『P.M ニュース』準備号（1932 年 11 月 18 日）　1 枚　＊PDF ファイルなし

日本プロレタリア音楽（家）同盟資料 第二集（プロレタリア文化運動資料刊行会　1965 年 9 月）
B4 版（355mm×249mm）クリーム上質紙　片面印刷　（未製本）
＊資料集の刊行「日」の記載なし。
＊各資料の名称（ファイル名）は、おおむね「資料一覧表」に従った。そのため、資料原本に記載のタイトル（題号）等と完全に一致しない場合がある。

PDF ファイル一覧

★B「凡例」「資料一覧表」　2 枚
35『東京支部組織部ニュース』No.1（1932 年 7 月 28 日）　2 枚
36『東京支部ニュース』No.1（1932 年 9 月 1 日）　3 枚
37『東京支部ニュース』号外（1932 年 9 月 24 日）　1 枚
38『東京支部ニュース』No.2（1932 年 10 月 30 日）　1 枚
39『東京支部ニュース』大音楽会準備号（1932 年 11 月 18 日）　1 枚
40『東京支部ニュース』No.3（1933 年 1 月 1 日）　3 枚
41『東京支部ニュース』No.4（1933 年 2 月 4 日）　3 枚
42『東京支部ニュース』No.5（1933 年 4 月 15 日）　2 枚
43『東京支部ニュース』支部総会準備号（1933 年 9 月 9 日）　2 枚
44『音楽新聞』第 1 号（1931 年 12 月 6 日）　2 頁
45『音楽新聞』第 2 号（1932 年 2 月 15 日）　4 頁
46『音楽新聞』号外（1932 年 3 月 28 日）　2 頁
47『音楽新聞』第 3 号（1932 年 4 月 30 日）　4 頁
48『音楽新聞』第 4 号（1932 年 7 月 3 日）　8 頁
49『音楽新聞』第 5 号（1932 年 8 月 1 日）　2 頁
50『音楽新聞』第 6 号（1932 年 10 月 5 日）　4 頁
51『プロレタリア音楽』No.1（1933 年 3 月 19 日）　17 枚
52『プロレタリア音楽』No.2（1933 年 5 月 1 日）　19 枚
53 ビラ「結集した力を…」（1932 年 7 月 10 日）　1 枚
54 ビラ「国際革命音楽…」（1932 年 9 月 5 日）　1 枚
55 ビラ「P.M 活動旺盛…」（1933 年 1 月 7 日）　1 枚
56 ビラ「譜盲絶滅週間に関する指令」（1933 年 2 月頃）　1 枚
57 ビラ「同志小林の労…」（1933 年 3 月 3 日）　1 枚
58 ビラ「檄」（1933 年 8 月 20 日）　1 枚
59 ビラ「出版活動窒化…」（1933 年 9 月 10 日）　2 枚
60 資料「勤労者音楽団ニュース第 1 号（断片）」（1931 年 6 月 21 日）　2 枚
61 資料「長崎共同購入会定価表」（不明）　1 枚　＊PM 資料ではない

各資料の概要

（凡例）
・各資料の発行主体、主な見出しや目次について［発行］［目次］の項目ごとにまとめた。
・各資料の資料名は、「資料一覧表」に記載の名称に準拠した。資料本体に記載されている実際の資料名（題号など）や巻号の表記方法（算用数字／漢数字等）を正確に反映していない場合がある（例：『P.Mニュース』〔資料名〕→『日本プロレタリア音楽家同盟ニュース』〔実際の表記〕）。
・（　）内には各記事の執筆者名（署名）または記事内の小見出し等を原則として原文どおり記載した。
・〔　〕内には目録作成者による注記等を記した。

1『P.M ニュース』No.3（1930 年 7 月 12 日）　2 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（事務所 上落合 460）
［目次］**1 枚目**　嵐に抗して進め！／**2 枚目**　プリントづり楽譜を売る／事務所確立／委員会の確立（第四回同盟総会〔委員長関、委員守田・露木・山本・福田、書記長河野、書記山本・北斗〕）／プロキノに出動（5 月 31 日読売講堂「プロレタリア映画の夕」に合唱隊が賛助出動）／落合消費組合へ出動（7 月 5 日「プロレタリア演芸大会」に合唱隊が出動）

2『P.M ニュース』No.4（1930 年 9 月 21 日）　2 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（市外上落合 460）
［目次］**1 枚目**　農村へ（プロキノ、PP と共同で府下青砥に出動）／ナップ機関誌が創刊発行された／プロレタリア歌曲集発刊さる（即日発禁）／プロ研夏季大学へ出動（プロ科主催）／SAT のエス語講習へ出動／PP 夏季講習茶話会へ（7 月 31 日）／ハモニカバンド結成さる／活動部仕事につく／**2 枚目**　作曲班々会報告（作家同盟詩研究会との共同、8 月 26 日、9 月 16 日開催）／第六回総会報告（8 月 20 日開催）／第七回総会報告（9 月 10 日開催〔新委員長露木次男、書記長山本正夫、合唱班委員関鑑子・古谷勇、書記河野さくら・木田順吉〕）

3『P.M ニュース』No.6（1930 年 11 月 19 日）　1 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（市外上落合 460）
［目次］組織的活動の強化へ！／作曲活動を充実しろ！／合唱班では／ハーモニカ隊では／プロレタリア文芸講演会へ出動（11 月 9 日作家同盟主催）／書記局より（合唱班確立、同盟費研究費値上げ、図書部新設、除籍）／岡本文彌主催プロレタリア演芸大会へ助演（10 月 24 日～25 日読売講堂）

4『P.M ニュース』No.7（1930 年 12 月 31 日）　2 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（市外上落合 460）
［目次］**1 枚目**　一九三一年の用意は好いか！／綜合技術批判会に依って技術の進歩を計れ！／明確な政治的意識と表現自由な演奏技術！／**2 枚目**　器楽班の踏ん張る時が来たぞ！／出動（青砥ピオ展へ出動など）／書記局より／第一回綜合技術批判会（1931 年 1 月 4 日四谷区旭町二葉保育園）

5『P.M ニュース』No.8（1931 年 1 月 25 日）　3 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（市外上落合 460）
［目次］**1 枚目**　一九三一年を積極的攻勢へ！／第二回プロレタリア大音楽会を闘ひぬけ！／**2 枚目**　レコード吹込具体化す／第一回綜合技術批判会より／**3 枚目**　各班の報告（作曲班、合唱班、器楽班）／書記局より／ナップ 2000 円基金募集

6『P.M ニュース』No.9（1931 年 3 月 1 日）　2 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（市外上落合 460）
［目次］**1 枚目**　後へ一歩も退くな！　一層強固に仕事を進めろ！／第二回綜合技術批判会（2 月 18 日）

／**２枚目**　戦旗防衛 5000 円基金募集に応じろ！／作曲班、合唱班、器楽班の報告一束／〔標語〕読め！機関誌『ナップ』誌代を即時完納しろ！／書記局より

7『P.M ニュース』号外（1931 年 3 月 24 日）　1 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（市外上落合 460）
［目次］プロレタリア大音楽会第二回公開（3 月 29 日築地小劇場）／〔レコード吹き込み延期〕

8『P.M ニュース』No.10（1931 年 4 月 18 日）　3 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（市外上落合四六〇）
［目次］**１枚目**　大会近づけり！／第二回公開プロレタリア大音楽会は如何に闘ひぬかれたか！／**２枚目**　聞け！PM レコード／メーデーカンパ／ゼスチュア研究会報告／プロレタリア歌曲集が出るぞ！／戦旗 5000 円カムパのうた「戦旗を守れ」が出来るぞ！／**３枚目**　班会報告（合唱班、作曲班）／同盟費に就いて／ショキ局報

9『P.M ニュース』No.12（1931 年 7 月 9 日）　2 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（東京市外上落合 460）
［目次］**１枚目**　組織部活動を如何に理解すべきか（同盟の拡大強化、三・一五 四・一六公判闘争のために）／小公演方〔報〕告／P.M レコードは俺たちの手で！／合唱班報告／**２枚目**　歌曲集再刊の計画はどう運ばれたか？／ナップ誌代ヲ完納シロ！／大会を成功的に闘ひ抜け！／書記局だより

10『P.M ニュース』No.12（1931 年 8 月 26 日）　3 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（東京市外上落合 460）
［目次］**１枚目**　新方針にしたがって更に前進せよ！／第一回大会は如何にたゝかひぬかれたか！（7 月 23 日二葉保育園）／〔標語〕P.M の基礎を工場農村へ／**２枚目**　暑さに負けづ闘はれてゐる移動活動の跡を見よ（戦旗の夕、関消聯〔関東消費組合聯盟〕講習会、山下鉛筆工場スト、映従××スト／〔標語〕P.M 組織の拡大強化！／**３枚目**　新部員決定さる（組織部――原（長）、河野、移動活動部――福田（長）、新島、中野、教育部――露木、峯、調査部――守田（長）、原、石井、渋谷、財政部――関（長）、青柳、守田、書記局――山本、安田、韓、新島、委員長露木、書記長山本）／合唱班の報告／器楽班の報告／作曲班の報告、研究会活動を旺盛にしろ！／書記局ヨリ／〔標語〕楽器購入 500 円基金募集!!

11『P.M ニュース』No.13（1931 年 9 月 5 日）　2 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（東京市外上落合 460）
［目次］**１枚目**　新たなる組織のもとに更に奮起せよ！／次々のカムパに備へよ！／第 2 回戦旗の夕／音楽新聞第一号予定（10 月 20 日発行）／**２枚目**　委員会報告（財政に関する件、文化聯盟に関する件、機関紙並に大衆新聞に関する件、研究生対策の件）／定例総会召集（10 月 7 日）／教育部報告／財政部報告／大阪支準は次の通り進捗しつゝある／組織部報告

12『P.M ニュース』No.14（1931 年 11 月 18 日）　3 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（東京市外上落合 460）
［目次］**１枚目**　実質的に拡大強化につとめよ／第 3 回公開に際し全同盟員に告ぐ／プロレタリア文化聯盟の結成の準備すゝむ／〔標語〕第 3 回プロレタリア大音楽会を守れ!!／**２枚目**　委員会報告（11 月 11 日、歌曲集の定価並びに戦旗の基金に関する件、人事の件、同盟ヒ値下の件、音楽新聞の件、ナップ拡大協議会の件）／ナップの発展的解体 最後の拡大協議会／〔標語〕音楽新聞発行万歳！／**３枚目**　移動活動（戦旗社主催文化聯盟結成戦旗の夕、王子文化クラブ創立演芸の夕、一般消ヒ組合家族コン談会、時事新報スト）／音楽会実行委員会報告／第 3 回プロレタリア大音楽会（12 月 5 日、6 日築地小劇場）／音楽会練習／同盟ヒ値下ゲ／基金カムパをもっと精力的に闘へ／〔標語〕楽器購入五

○○円基金募集!!

13『P.M ニュース』No.17（1932 年 5 月 9 日）　　3 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（東京市外上戸塚七四三）
［目次］**１枚目**　メーデー闘争の批判から新らしい活動へ／**２枚目**　同盟財政を確立しろ！ 同盟費を即時完納しろ！／暴圧を蹴って P・M の旗を押進めよ！／新時間割／**３枚目**　メーデー準備小公演　メーデー音楽会／新同盟員／部長並びに部員変更／各部報告（書記局、教育部、組織部、企画部、音楽新聞部、移動活動部、財政部）

14『P.M 教育部ニュース』No.2（1932 年 5 月 8 日）　　1 枚
［発行］〔日本プロレタリア音楽家同盟教育部〕
［目次］活動の基礎を正しい理論の上に！／五月研究会プラン／四月研究会の報告と批判（4 月 10 日）／自主的研究会について

15『P.M 特別ニュース』（1932 年 5 月 22 日）　　1 枚
［発行］P.M.
［目次］第 2 回全国大会が迫ったぞ！／白熱的に活動を強化して革命競争を闘ひ抜け

16『P.M ニュース』No.18（1932 年 6 月 17 日）　　4 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟
［目次］**１枚目**　革命競争は如何に進行してゐるか？／階級的規律を以て音楽運動を武装せよ！／**２枚目**　組織活動の前進のために（本部組織部の仕事、東京支部）／移動活動報告／**３枚目**　教育部報告／同盟第二回大会迄に同盟費完納を闘ひとれ！／東京支部各班報告／大会対策／**４枚目**　PM 大衆化のための一提案／新レコード吹込／略譜附楽譜出版／図書部新設／革命競争のプラン／前頁補足

17『P.M 教育部ニュース』No.4（1932 年 7 月 6 日）　　1 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟教育部
［目次］反戦文化闘争週間のために
［備考］断片。2 枚目以降不明。

18『P.M ニュース』第一号（1932 年 8 月 14 日）　　8 枚（半紙二つ折り）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟
［目次］**２～５頁**　新たな決意で第二次革命競争へ！（P.M 常任中央委員会）／**５～６頁** 青年デーに備へよ！（P.M 常任中央委員会書記局）／**６～９頁**　国際組織の仕事は進んでゐる（P.M 常任中央委員会）／**９頁**　移動活動の不活発を克服しろ！／**１０～１１頁**　PM 中央部新構成／**１１～１２頁**　第二回大会は如何に戦はれたか（P.M 常任中央委員会）／**１２～１６頁**　組織部報告、革命競争の新らしい出発に際して、音楽新聞に関する問題（音楽新聞部）、出版活動（出版部）、大会以後の東京支部活動

19『P.M ニュース』No.2（1932 年 10 月 29 日）　　3 枚（両面刷り 6 頁）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟常任中央委員会書記局（東京市淀橋区戸塚町四丁目七四三）
［目次］**１頁**　革命記念日の為の活動／11.7. 革命競争のゴール目前に迫った!!／**２頁**　旅券は却下された！ だが派遣カムパは続行してゐるぞ！／国際ニュース／**３頁**　同盟財政の危機を救へ！／死刑重罰絶対反対（PM 常任中央委員会）／**４頁**　創作活動／音楽新聞に就いて／次の様なパンフレットが出るぞ！／ピース楽譜／同志守田正義の曲がモスコーで演奏される／**５頁**　組織活動／財政活動／支部報告（報告のし方について本部書記局の意見）／**６頁**　東京支部報告／大阪支部報告／京都支準報告／神奈川支準報告

20『P.M ニュース』No.3（1933 年 1 月 5 日）　　2 枚（両面刷り 4 頁）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟常任中央委員会書記局（東京市淀橋区上落合 1 丁目 481 並木方）
［目次］**1 頁**　第三次革命競争に！〔活動計画〕／**2 頁**　新しい決意を以って一月の闘争 三 L 週間／本部活動報告（創造的活動、教育部、出版部、機関誌編輯部）／**3 頁**　財政部報告／支部報告（東京支部、長屋合唱隊、大阪支部、神奈川支準、本部書記局より）／**4 頁**　機関誌発刊に力を集中せよ！／事務所移転

21『P.M ニュース』No.4（1933 年 3 月 7 日）　　2 枚（両面刷り 4 頁）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟常任中央委員会書記局
［目次］**1 頁**　マルクス五十年祭カンパを如何に闘ふか／第三次革競に於ける我々の目標はかうだ！／**2 頁**　移動音楽隊を確立せよ！／地方協議会強化のために わが支部支準は積極的に闘へ！／地方支部支準活動報告（東京支部報告、**3 頁**　京都支準、大阪支部、関西評議会、神奈川支準、上田支準）／班の結成について／略称募集／再び出版基金活動について／**4 頁**　本部各専門部報告（教育活動を盛り返せ、出版活動報告、機関誌編輯部、雑報）／書記局だより／〔告知〕3.15～26 築地小劇場で同志小林多喜二の追悼公演をやるぞ

22『P.M ニュース』No.5（1933 年 4 月 3 日）　　2 枚（両面刷り 4 頁）
［発行］日本プロレタリア音楽同盟書記局（東京市淀橋区上落合一丁目四八一並木方）
［目次］**1 頁**　一・一〇→三・一五の批判の上にメーデーを準備せよ／**2 頁**　〔省略（P.4 と同一版面のため）〕／**3 頁**　移動音楽隊（専門アジプロ隊）確立 自律音楽隊結成・そのアジプロ隊化について（書記局組織係）／機関誌編集プラン／メーデーへの教育方針／〔判読不能〕／**4 頁**　同盟出版活動に対する関心を積極的に表示せよ／出版物割引率決定／雑報（同盟の名称変更、教育部廃止、レパートリー委員会新設／財政部収支報告／同志小林論文集その他）
＊同盟の名称が**「音楽家同盟」**から**「音楽同盟」**に変更された。

23『同盟費滞納者氏名及び滞納金額』（1933 年 4 月 24 日）　　1 枚
［目次］同盟費滞納は階級的裏切りだ／同盟費滞納者氏名及び滞納金額（本年四月迄）

24『P.M ニュース』号外（1933 年 4 月 26 日）　　2 枚
［発行］日本プロレタリア音楽同盟（東京市淀橋区上落合一ノ四八一）
［目次］**1 枚目**　メーデーは五日後に迫った（P.M 常中委書記局）／コップ中央機関誌 コップ発刊さる！／**2 枚目**　同盟費完納を闘へ

25『P.M ニュース』No.6（1933 年 5 月 24 日）　　2 枚（両面刷り 4 頁）
［発行］日本プロレタリア音楽同盟（東京市淀橋区上落合一丁目四八一）
［目次］**1 頁**　拡・中・協へ！――メーデー闘争の経験と批判を生かせ！（日本プロレタリア音楽同盟常・中・委）／**2 頁**　第三次革競成果を報告せよ！――期日五月三十日・厳守／支部・支準・組織部は至急活動報告を提出せよ！／コップ拡大中央協議会を準備せよ！ P.M 第三回大会の成功的遂行の為に闘へ！／小林の日和見主義に対する闘争を読め！／**3 頁**　グループ別研究会活動を実践せよ（書記局教育係）／少年・反戦歌曲集出版計画（出版部）／機関誌第三号（六月）主要内容（編輯部）／東京支部報告／**4 頁**　上田支準について／第三次革競後半期の活動（P.M 神奈川支準）／雑報（委員会専門部構成変更（組織部再建）財政部廃止、同盟費の統一）

26『P.M ニュース』No.7（1933 年 7 月 14 日）　　1 枚（両面刷り 2 頁）
［発行］日本プロレタリア音楽同盟書記局（淀橋区上落合一ノ四八一）
［目次］**1 頁**　〔標語〕北支占領・東支鉄道掠奪反対！ソ同盟・中国革命を守れ！／大衆的反戦行動を

組織して八・一反戦デーに備へろ！――職場・部落の中に上海反戦会議支持委員会をつくれ――／第三回全国大会を如何に闘ひとるか／**２頁**　反戦闘争方針（P.M 中央常任委員会書記局）／東京支部は総会を準備してゐるぞ／大阪支部では／救援活動を高めよ／神奈川支準／書記局だより〔標語〕暴圧をケッテ逆襲を組織し反戦活動強化に突進せよ！

27『P.M ニュース』No.8（1933 年 9 月 11 日）　　2 枚（両面刷り 4 頁）
［発行］日本プロレタリア音楽同盟常任中央委員会書記局
［目次］**１頁**　大会準備に関する指令！（P.M 常・中・委）／**２頁**　中央機関誌の発刊について／同盟財政強化に就て全同盟員諸君に檄す！／支部支準情勢（東京支部は総会を準備してゐるぞ！）／**３頁**　出版部（編成替後）／機関誌部／声明書（和泉勇太郎ヲ除名ス）／**４頁**　佐野鍋山三田村等の裏切りに際して声明す（(コップ日本プロレタリア音楽同盟常任中央委員会)

28『P.M 第一回大会報告議事草案』（1931 年 7 月 23 日）　　15 枚（半紙二つ折り）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟
［目次］**１枚目**　大会プログラム／**２～６枚目**　同盟一般的活動報告／**７～９枚目**　合唱班報告／**９枚目**　器楽班報告／**１０枚目**　組織（部）活動に関する報告／**１１～１２枚目**　移動活動に関する報告／**１２～１５枚目**　一九三一年度同盟一般活動方針

29『一九三三年九月東京支部総会への報告書』（1933 年 9 月 4 日）　　15 枚（半紙二つ折り）
［発行］コップ・日本プロレタリア音楽同盟東京支部執行委員会
［目次］**２～５枚目**　P.M 東京支部報告／**６～８枚目**　組織活動報告／**９～１０枚目**　創作活動報告／**１１～１３枚目**　移動音楽隊の報告／**１４～１５枚目**　ハーモニカ班報告／

30『プロレタリア歌曲集 第一輯 インタナショナル』（1932 年 12 月 15 日）　　8 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟神奈川支部準備会編輯（横浜市中区扇田町 2.25）
［目次］**１頁**　〔楽譜〕インタナショナル／**２頁**　〔楽譜〕若き兵士／**３頁**　〔楽譜〕憎しみのるつぼ／**４頁**　〔楽譜〕俺はかぢや／**５頁**　〔楽譜〕自由ロシアの讃歌／**６頁**　〔楽譜〕ワルシャワ労働者／**７頁**　〔楽譜〕同志はたほれぬ／**８頁**　〔楽譜〕赤旗の歌／**９頁**　〔楽譜〕小さい同志／**１０頁**　〔楽譜〕団結の力

31『プロレタリア歌曲集 三月 発刊に際して』（1933 年 3 月 20 日）　　2 枚
［発行］P.M 神奈川支部教育部
［目次］**１枚目**　発刊に際して／**２～５枚目**　後記〔？〕（歌曲集『三月』略解）

32『プロレタリア歌曲集 三月 同志小林多喜二追悼記念出版』（1933 年 3 月 25 日）　　6 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟神奈川支部準備会編輯発行（横浜市中区扇田町二ノ二五）、編輯発行兼印刷人武者秀雄（横浜市中区扇田町二ノ二五）
［目次］**１頁**　〔楽譜〕二月二十日（直江達雄 作詩、山城静雄 作曲）／**２頁**　〔楽譜〕マルクス、レーニン万歳！（山城静雄 作詩・作曲）／**３頁**　〔楽譜〕コムミユニストのマルセーズ／**４頁**　〔楽譜〕働く婦人の歌（三好十郎作詩、原太郎作曲）／**５頁**　〔楽譜〕笹刈り（今泉純原詩、山城静雄改作、和田節造作曲）／**６頁**　〔楽譜〕おいらの春（高木進二作詩、守田正義作曲）／**７頁**　〔楽譜〕メーデー近づく（武者秀雄作詩、原太郎作曲）／**８頁**　〔楽譜〕万国のプロレタリア団結せよ（ベルーヂユ作曲、武者秀雄訳詩）

33『前哨の歌 第 3 輯 メーデー準備特輯』（1933 年 4 月 28 日）　　4 枚（8 頁）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟出版部（東京市淀橋区上落合 1 の 481 並木方）、発行兼印刷人原太郎

［目次］**１頁**　〔序言〕（日本プロレタリア音楽同盟出版部）／**２頁**　〔楽譜〕1. メーデー近づく（作詩武者秀雄、作曲原太郎）／**３頁**　〔楽譜〕2. 鐘が鳴れば（ソヴェート同盟赤衛軍軍歌、新島繁訳、山本正夫編）／**４頁**　〔楽譜〕3. 列につけ（ソヴェート同盟ピオニールの歌、山本正夫編）／**５頁**　〔楽譜〕4. 若者の歌（作詩代田央、作曲和田節造）／**６頁**　〔楽譜〕5. 五月一日の朝（作詩波立一、作曲原太郎）

34『P.M ニュース』準備号（1932 年 11 月 18 日）　1 枚
＊「資料一覧表」に記されているが、手許の資料集には存在しない。PDF ファイルなし。

35『東京支部組織部ニュース』No.1（1932 年 7 月 28 日）　2 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟（市外上戸塚 743）
［目次］**１枚目**　組織活動の新方針を八・一カンパに如何に的〔適〕応し、実践しつゝあるか／地区オルグ会議・サークル世話役会議 当面の任務／**２枚目**　サークルの指導に付〔就〕いて／市電兄妹達は立ち上がるぞ！

36『東京支部ニュース』No.1（1932 年 9 月 1 日）　3 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟東京支部（東京市外上戸塚 743）
［目次］**１枚目**　革命競争を通じて立遅れを克服せよ／東京支部中央部の構成（常任中央委員、各専門部設置と部員の任命）／〔標語〕9 月 4 日国際青年デーのデモに参加しろ！／**２枚目**　全同盟員の積極的参加に依って第二次革命競争の成功的遂行へ！／教育活動プラン／組織活動プラン／移動活動プラン／支部声楽班は東京プロレタリア合唱団に発展、活動に移った！（東京プロレタリア合唱団）／各専門部の活動状態／〔標語〕同盟費を完納せよ！ 同盟費納入の革命競争を各技術班で捲き起せ！／**３枚目**　第一次革命競走成績（組織活動、教育活動、創作及演奏活動）／東京支部同盟員の動静／書記局より〔標語〕ロシア革命記念を期し同盟機関誌が発行される！ 名称は「プロレタリア音楽」／音新三百円基金カンパに応じろ！

37『東京支部ニュース』号外（1932 年 9 月 24 日）　1 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟東京支部（上戸塚 743）
［目次］10.7（渡政デー）P.M・作同共主催『講演と音楽の夕』於上野自治会館／宣伝その他の準備活動について

38『東京支部ニュース』No.2（1932 年 10 月 30 日）　1 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟東京支部（淀橋区上戸塚 4 丁目 743）
［目次］十一月七日を闘へ！／各部報告（組織部、教育部、財政部、移動部、企画部）／11 月 7 日ピース楽譜出版／配宣の活動が整備されたぞ！／各専門技術班の最近の情勢とその活動（東京プロレタリア合唱団、ハーモニカ班、創作班）／合唱団の活動表／ロシア革命 15 週年記念を中心とした我等の催し／新同盟員／部長及び部員の変更／書記局より

39『東京支部ニュース』大音楽会準備号（1932 年 11 月 18 日）　1 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟東京支部（淀橋区戸塚町四丁目七四三）
［目次］ロシア革命十五周年紀念 コップ結成一周年紀念 第五回 P.M 大音楽会（十二月十一日）／音楽会実行委員会／準備基金募集・入場券前売を勢［精］力的に闘ひ抜け
＊タイトルは「P.M ニュース ロシア革命十五週年紀念 コップ結成一週年紀念大音楽会準備号」

40『東京支部ニュース』No.3（1933 年 1 月 1 日）　3 枚
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟東京支部（東京市淀橋区上落合町一丁目四八一並木方）
［目次］**１枚目**　五月一日（メーデー）までの東京支部活動プラン／一月カンパ三 L デー／一月下旬に

於けるプロキノとの共同公演／事務所移転通知／新同盟員及同盟加入希望者の為の短期講習会／長野地方巡回公演／**２枚目**　東京支部活動報告（組織活動、教育活動、財政活動、移動活動、企画活動、諸技術班）／東京支部委員会の部分的変更／移動活動に関する決議／**３枚目**　全同盟員諸君 出版基金に応募せよ！／〔告知〕機関誌プロレタリア音楽二月創刊号定価二十銭発行！ 歌曲集前哨の歌第一号五セン発行！／コップ出版物を読め！／符〔譜〕盲撲滅週間の闘争へ／〔楽譜〕ブジョンヌイ行進曲／書記局より／

41『東京支部ニュース』No.4（1933 年 2 月 4 日）　　3 枚（1・2 頁両面刷り）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟東京支部（東京市淀橋区上落合町一ノ四八一）
［目次］**１頁**　東京支部は第三次革命競争を如何に闘ふか／第三次革命競争プラン／創作プラン／班結成へ！／**２頁**　支部報告（組織活動、教育活動、財政活動、移動活動、合唱団、創作班、ハーモニカ団・オーケストラ班）／**３頁**　ロシア革命十五週年紀念・コップ結成一週年紀念第五回音楽会報告及びその自己批判／〔楽譜〕海山越えた／新同盟員氏名／活動基金二〇〇円募集！

42『東京支部ニュース』No.5（1933 年 4 月 15 日）　　2 枚
［発行］日本プロレタリア音楽同盟東京支部書記局（東京市淀橋区上落合一ノ四八一）
［目次］**１枚目**　一九三三年のメーデーを闘へ！／組織活動／教育活動／基金活動／創造活動／各部報告（組織部、教育部、企画部、**２枚目**　財政部、移動部）／メーデーを目指して再び合唱団の主体を盛り直せ！／〔楽譜〕若者の歌（作詩代田央、作曲和田節造）／創作班／ハーモニカ班／書記局より／我等の「前哨の歌」を経営の中に、ピクニックにあらゆる集会に持ち込め／犠牲者を救援せよ！／委員会について。／〔告知〕読め！プロレタリア文化

43『東京支部ニュース』支部総会準備号（1933 年 9 月 9 日）　2 枚（両面刷り）
［発行］判読不能
［目次］**１頁**　東京支部総会ノタメニ準備セヨ！（コップ・日本プロレタリア音楽同盟東京支部執行委員会）／**２頁**　〔楽譜〕勝利（「十月への道」）

44『音楽新聞』第 1 号（1931 年 12 月 6 日）　　2 頁（両面刷り）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟内音楽新聞編輯局（東京市外上落合四六〇）、発行編輯印刷人露木次男
［目次］**１頁**　発刊の言葉／力と慰みと喜びにみちた俺たちの音楽会 労働者の音楽をそろへて 第三回プロレタリヤ大音楽会／大衆に呼びかけ損った『大衆に呼びかける音楽会』／通信員になるには／作曲募集／音楽サークルの話／〔楽譜〕一寸法師（戸部香作曲、作詩槙本楠雄）／**２頁**　山田耕筰氏のロシア音楽みやげ話／職場から 城北・一鉄工／誰にでも出来るクチブエ／ハーモニカの手引き／楽器購入五百円基金募集

45『音楽新聞』第 2 号（1932 年 2 月 15 日）　　4 頁（両面刷り）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟内音楽新聞編輯局（東京市外上落合四六〇）、発行編輯印刷人露木次男
［目次］**１頁**　増頁刊行／また押しかけろ俺たちの第四回プロレタリア大音楽会へ／〔楽譜〕小さい同志（槙本楠郎作詞、守田正義作曲）／素晴しい評判だつた俺たちの音楽会 労働者でうめられたプロレタリア音楽会／文化聯盟の話／　**２頁**　ブル音楽家とはこんなもの 戦争熱を高める『つはもの会音楽会』／労働者が進んで音楽家同盟に楽器の寄贈／近く JOAK から放送する工場音楽団とはこんなものだ／朝鮮の同志によつて芸術団体『同志社』が出来た／プロレタリアレコードにはどんなものがあるか？／俺たちの待つてゐたプロレタリアの舞踏劇場が生れた！／**３頁**　最新流行歌の替唄集（一）／童謡作曲募集の発表（選外佳作 尾上二郎君）〔楽譜〕ナニヲヤロ（川崎大治作詩、尾上二郎作曲）／メガホン／みんな知つてゐるか 国際プロレタリア演劇デー LATB（国際労働者演劇同盟）の日を!!

／講座 本譜の読み方（福田上一）／**４頁**　ハーモニカの手引き（前号の続き）／PM 音楽会の感想（テング聯盟、音楽会 永山敏雄）／サークルについて（SN 生）／私たちの『つのぶえ会』（○×工場山北生）／音新の読者は通信員になれ／工場や農村で唄はれてゐる諸君の手で作つた歌を送つて呉れ／紙代値上に就て／音新増大発行基金募集に就て／〔告知〕読め！われらのサヴエート同盟事情

46『音楽新聞』号外（1932 年 3 月 28 日）　2 頁（両面刷り）

［発行］日本プロレタリア音楽家同盟内音楽新聞編輯局（東京市外上落合四六〇）、発行編輯印刷人露木次男

［目次］**１頁**　プロレタリア音楽は誰の手で作られるか 労働者農民は音楽家同盟にはいれ／三月廿六・七日は俺達の音楽会だ！ 工場から職場から学校から 築地小劇場に押しかけろ！／〔大音楽会の〕プログラム／〔楽譜〕山男の歌（ロシヤのチェルケスの民謡）／笛吹けども大衆は踊らず 満洲行進曲と爆弾三勇士／小歌劇『建設』に就て／音新読者は通信員になれ／**２頁**　新『メーデー歌』を俺達もつくらう 俺達の心臓で俺達の勝利を歌へ！／ソヴエート同盟の音楽サークルの話（中條百合子）／労農通信 大衆党の歌曲集に就て（片山鋭一）／音楽新聞三百円基金カンパに応ぜよ！ 労働者農民並に音楽愛好家諸君／正しいプロレタリヤ音楽の樹立へ！（厚地正巳）／音新への希望（加佐間外治）／〔告知〕左翼劇場メーデー準備公演『志村夏江』（村山知義作）、『生きた新聞 メーデー特輯号』（左翼劇場文芸部作）

47『音楽新聞』第 3 号（1932 年 4 月 30 日）　4 頁（両面刷り）

［発行］日本プロレタリア音楽家同盟内音楽新聞編輯局（東京市外上戸塚七四三）、発行編輯印刷人福田上一

［目次］**１頁**　一九三二年のメーデーを迎へる 用意はいゝか！／暴圧の嵐の中に頑として闘ふ 日本プロレタリア音楽家同盟 下からの大衆的抗議をまき起せ！／〔楽譜〕インタナショナル／俺達の歌『インタナショナル』の歴史／軍備拡張に駆り立てられるブル楽壇のファッショ組織 演奏会を開いて戦争奉仕／通信員規定／**２頁**　暴圧に抗して堂々と闘ひ抜かれた 第四回プロレタリア音楽会／第四回公演を聴く（村田達夫）／職場から 官犬を圧倒して闘ひ抜かれた P.M 音楽会（S.Y 生）／第四回音楽会感想（AB 生）／メーデー近づく（片山鋭一）／足踏みと拍手にふるへた会場（一婦人労働者）／音新読者は通信員になれ！／**３頁**　公演禁止直ちに座談会を持つた 大阪地方支部主催第一回プロレタリア大音楽会／移動活動記（河野生）／〔略譜〕赤衛軍歌 鈴が鳴れば（山本正夫訳詞）／ピクニック出動記（青木啓）／移動音楽隊を利用せよ（日本プロレタリア音楽家同盟）／〔楽譜〕投稿作品 32 年の五月祭（メーデー）（工藤銑作詞作曲）／投稿作品『一九三二年のメーデー』の批評（PM 作曲班）／労農通信 替うたに就いて（小島生）／去った同志を追憶して（山中生）／ピクに集会に PM レコードを利用しやう！／音楽新聞三百円基金募集！／**４頁**　壁小説 目標工場（堀田昇一）／暴圧を蹴って日本プロレタリア文化聯盟を守れ！ 大衆的抗議で闘へ 日本プロレタリア文学〔化?〕聯盟中央協議会の檄／ハーモニカの手引き（前号の続き）／メーデー小公演に就て／取次員規定

48『音楽新聞』第 4 号（1932 年 7 月 3 日）　8 頁（両面刷り）

［発行］〔判読不能〕

［目次］**１頁**　日本プロレタリア音楽家同盟第二回全国大会迫る ——同盟の大会と音新読者の活動——／P.M レコード第三号／**２頁**　大会を目指して隣りの工場に、隣りの村に音楽サークルをふやせ（栃木の一農村の経験）／〔楽譜〕五月一日の朝（波立一作詞、原太郎作曲）／**３頁**　コップ拡大中央協議会をデモで闘ふ／ドイツの同志からのアイサツ／**４頁**　投稿闘争歌の批評／〔楽譜〕投稿作曲 赤旗の下に（山元誠作詞作曲）／暴圧に抗して全国の同志諸君に檄す!!／**５頁**　労農通信 俺達は映従ゼネストを決行した（一映画館楽士）／おれ達もサークルを造つたぞ！（静岡 河村雅夫）／メーデー当日をピクニックと示威行進見学で記念／音新読者は通信員になれ！／通信員規定／第一回通信員発表／新しい歌曲集が出るぞ！／**６頁**　〔判読不能〕（石川英夫）／闘争的歌曲をのせて呉れ（福井 加佐間外治）／音楽同盟に入りたい／**７頁**　小説 南葛（鹿地亘）／新聞をもつと早く出してくれ（弘前

北沢二郎）／編輯局から／取次員規定／**８頁**　〔標語〕万国の労働者団結せよ／〔楽譜〕ハーモニカ三重奏 憎しみのるつぼ（八寺測編曲）／音楽家同盟維持員ヲ募ル／維持員規定／移動音楽隊を利用せよ／みんなでよめ！俺達の雑誌

49『音楽新聞』第 5 号（1932 年 8 月 1 日）　2 頁（両面刷り）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟内音楽新聞編輯局（東京市外上戸塚七四三）、発行編輯印刷人福田上一
［目次］**１頁**　八・一を目指して全国に反戦闘争の嵐をまき起せ！／〔写真〕仕事の暇に（赤衛軍兵士のバラヽイカ演奏、農村青年の手風琴演奏）／〔コラージュ〕現代楽壇展望／P・M 第二回全国大会開かる！／全ソヴエート聯邦の音楽オリムピアーダ 出演者一万を動員して APM の活躍／P.M レコード三号が出来たぞ！／**２頁**　大阪支部第二回音楽会を前に大弾圧下る ——九月十一日、土佐堀会館へ押し掛けろ——／工場、農村、兵営から 反戦闘争のレポを送れ！／日本に於けるプロレタリア音楽運動の生ひ立ち／〔楽譜〕失業に抗して（工藤銑作詞作曲）／投稿作曲の批評（作曲班）／俺達の前衛は勇敢に公判廷で闘つてゐる／労農通信 俺達のサークルでも音新防衛！（静岡 通信員 河村雅雄）／船内音楽サークルに就いて（海上通信員 壺田滋）／紙代完納と読者獲得で音新を守る！（田川生）／反戦歌曲集が出るぞ！

50『音楽新聞』第 6 号（1932 年 10 月 5 日）　4 頁（両面刷り）
［発行］日本プロレタリア音楽家同盟内音楽新聞部（市内淀橋区戸塚町四丁目）〔判読不能のため 2 頁の情報を参照〕）、発行編輯印刷人福田上一
［目次］**１頁**　プロレタリア音楽の国際的組織確立へ！　国際革命音楽会議の招集 革命十五週年を期してモスコーへ各国の革命的音楽家集まる／世界各国の同志がモスコーへ！国際革命音楽会議へ！俺達の代表も行くぞ！／派遣代表の挨拶 全力を挙げてその任を果す（原太郎）／同志原太郎をモスクワに送る（河野桜子）／国際的結合によつて先づ歌曲集の刊行「世界革命の歌」／**２頁**　10.1 渡政デー この日を如何に記念するか／P・M ではその日に「音楽と講演の夕」を／P.M の東京プロレタリア合唱団は今年中の築地の公演に出演する／移動音楽隊を利用せよ／〔楽譜〕フランス青年の歌／代表を送るための旅券〔一字不明〕旅費／プロレタリア音楽 十月中旬創刊／講演と音楽の夕（10 月 7 日上野自治会館）／**３頁**　ソヴェート革命作曲家の輝ける活動（和田十兵衛）／労農通信 弾丸は前ばかりにとばない（長崎通信員 工藤銑）／〔楽譜〕朝（槙本楠郎作詞、工藤銑作曲）／通信員活動のために／音楽新聞通信員規定（音楽新聞編輯局）／音楽新聞通信員申込用紙／**４頁**　〔標語〕音新の財政確立を革命競争で闘へ!!／革命競争とは？ 第二次革命競争を如何に闘ひ抜くか／機関銃の弾丸のやうに基金を送らう（秋田通信員 近藤仁郎）／吾々の目標は斯うだ 音楽新聞三百円基金募集を革命競争で闘ひ取れ（音新経営部）／基金応募者名〔諸井三郎、江口渙、大宅壮一、貴司山治、吉屋信子、岡本文彌など〕／編輯後記

51『プロレタリア音楽』No.1（1933 年 3 月 19 日）　17 枚（両面刷り・半紙二つ折り）
＊表紙には「1933 年 2 月」とある
［発行］発行所：日本プロレタリア音楽同盟出版部（東京市淀橋区上落合一の四八一並木方）、発行編輯印刷人：日本プロレタリア音楽同盟機関誌部原太郎（東京市淀橋区上落合一の四八一並木方）
［目次］**１頁（１枚目）** 目次／**２～４頁（２～３枚目）**　機関誌プロレタリア音楽創刊に際して（1933.2. 日本プロレタリア音楽同盟）／**５～７頁（３～４枚目）**　音楽サークルの再考察（赤松良雄）／**８～１１頁（５～６枚目）**　正しく引き戻された音楽新聞（山本正夫）／**１１～１３頁（６～７枚目）**　東京プロレタリア合唱団に就いて（河野さくら）／**１４～１７頁（８～９枚目）**　音楽に於ける創作方法の問題（吉原澄子）／**１７頁（９枚目）**　募集 音楽家同盟の略称とマーク／**１８～２３頁（１０～１２枚目）**　ソヴェートの音楽事情／**１８～１９頁（１０枚目）**　長屋合唱団の活動／**２４頁（１３枚目）**　P.M レコード、歌曲集前哨の歌即時申込め／**２５～２７頁（１３～１４枚目）**　P.M 東京支部主催 第五回音楽会批判（中野秀三）／**２８頁（１５枚目）**　通信ラン 「床や」や「菓子や」の集

りから（工藤銑)、お話会を開いて（M･S･O）／**２９～３２頁（１５～１７枚目）**〔楽譜〕兵士を送る（原詩村田達夫、編詩作曲吉原澄子）／**３２頁（１７枚目）**〔楽譜〕失業者の歌（Lied der Arbeitslosen (Stempellied), Text: D. Weber, Musik: Hanns Eisler〔失業者の歌（スタンプの歌）作詞ダーヴィト・ヴェーバー、作曲ハンス・アイスラー〕）／**３３頁（１７枚目）**　編輯後記（機関誌編輯部）

52『プロレタリア音楽』No.2（1933 年 5 月 1 日）　19 枚（両面刷り・半紙二つ折り）
＊表紙には「1933.4」とある
［発行］発行所：日本プロレタリア音楽同盟出版部（東京市淀橋区上落合一の四八一並木方)、発行編輯印刷人：日本プロレタリア音楽同盟機関誌部原太郎（東京市淀橋区上落合一の四八一並木方）
［目次］**１枚目**　目次／**１～２頁**　メーデーを準備せよ／**３～６頁**　新しいメーデー歌創作の為に（峰弘子）／**６～１１頁**　経営（部落）内芸術アジ・プロ隊結成とわが移動音楽隊の新しい任務（原太郎）／**１２～１６頁**　音楽に於ける創作方法の問題（２）（吉原澄）／**１７～２０頁**　〔楽譜〕二つの追悼の歌その他（原太郎)〔楽譜「マルクス・レーニン万歳（作詞・作曲山城静雄）を含む〕／**２１頁**　抗議／**２２頁**　P.M と同志小林多喜二（河野さくら）／俺達は火をつぐ！ 同志福田を憶ふ（原太郎）／**２３頁**　福田君の断想（河野さくら）／**２４頁**　俺の知る同志福田（藤村志下夫）／**２５～２７頁**　新ソヴェート音楽（Von G. Poljanoueski 内田新子訳）／**２５～２７頁**　メーデー闘争 原稿募集（日本プロレタリア音楽同盟機関誌編輯部)、原稿募集、コップ出版防衛 500 円基金募集に応じろ！、読め！プロレタリア文化、大衆の友、働く婦人、ウリトンム／**２８頁**　200 円カンパを 8・1 へ！／職場・農村通信及び通信員募集／**２９頁**〔広告〕日本プロレタリア音楽同盟編輯歌曲集前哨の歌／**３０頁**〔広告〕機関誌活版期成カンパ→8.1 P.M レコード／国際児童週間の為に少年劇団第 3 回公演（1933 年 5 月 6・7 日築地小劇場）／**二の一**　〔楽譜〕追悼の歌（佐野嶽夫作詩、吉原澄作曲）／**二の二**　〔楽譜〕二月二十日（直江達夫作詩、山城静雄作曲）／**二の三**　〔楽譜〕マルクスの歌（佐野嶽夫作詩、原太郎作曲）／**二の四**　〔楽譜〕笹刈り（今泉〓原詩、山城静雄改作、鳥羽二郎作曲〔目次には「和田節造作曲」とある〕）／**１９枚目**　編輯後記

53 ビラ「結集した力を…」（1932 年 7 月 10 日）　1 枚
［標題］結集した力を以つて暴圧に逆襲せよ！
［署名］日本プロレタリア音楽家同盟

54 ビラ「国際革命音楽…」（1932 年 9 月 5 日）　1 枚
［標題］国際革命音楽会議を前に全国の同志諸君に檄す！
［署名］日本プロレタリア音楽家同盟常任中央執行委員会

55 ビラ「P.M 活動旺盛…」（1933 年 1 月 7 日）　1 枚
［標題］PM 活動旺盛化のため出版基金二〇〇円募集を精力的に闘ひ抜け！
［署名］日本プロレタリア音楽家同盟

56 ビラ「譜盲絶滅週間に関する指令」（1933 年 2 月頃）　1 枚
［標題］譜盲絶滅週間に関する指令
［署名］PM 常中委

57 ビラ「同志小林の労…」（1933 年 3 月 3 日）　1 枚
［標題］3 月 15 日同志小林の労農葬を闘ひ抜け！
［署名］日本プロレタリア音楽家同盟常任中央委員会書記局

58 ビラ「檄」（1933 年 8 月 20 日）　1 枚
［標題］檄!!!〔東京支部総会に向けての呼びかけ〕

［署名］コップ・日本プロレタリア音楽同盟東京支部執行委員会

59 ビラ「出版活動鞏化…」（1933 年 9 月 10 日）　　2 枚
［標題］出版活動鞏化のための全国的カンパニアを組織せよ
［署名］日本プロレタリア音楽同盟出版部

60 資料「勤労者音楽団ニュース第 1 号（断片）」（1931 年 6 月 21 日）　　2 枚
［解説］縦書き 2 段組、見開き 2 頁で 1 枚。計 4 頁分。「十四日の第二日曜日」に第一回ピクニックを決行し、「青戸〔砥〕駅」から三里の農村へ行ったとある。直近で 14 日が日曜日であるのは 6 月 14 日。最終頁に「最初の労働者音楽団万歳」とあり、その「音楽団」の「第一号ニュース」と記されている。資料 9『P.M ニュース』No.12（1931 年 7 月 9 日）の「組織部報告」に、「金属」の「ある工場」に「労働者音楽グループ」が誕生し、第一号ニュースも出ていると報じられている。この「グループ」に相当する可能性が考えられる。

61 資料「長崎共同購入会定価表」（不明）　　1 枚
［解説］標題部分に「長崎共同購入会定価表」とあり、「事務所長崎南町三九四〇田村方、練馬事務取扱所 中新井町一丁目六〇二加藤方」とある。内容は米や調味料などの価格表。カット内に小さく「すべての日用品は共同購入で」とあり、最下段に「共同購入で安い品物を分け合はふ！」とある。資料集第二集の「凡例」四に「原資料のなかにまじっていたもの」と記されている。

（各資料の概要　以上）